

『空きびん自治会回収』スタート！

高齢化社会に対応し、出来るだけごみ出ししやすくするため、一昨年に開始しました。「古紙類の各戸前回収」に引き続き、平成26年5月より「空きびんの自治会回収」を、2～5丁目ですスタートしました。ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。自治会回収と市の回収との比較は下図の通りです。

項目	自治会回収	市回収
回収日	毎月2回（第1・3水曜日）	月1回（第2木曜日）
回収場所	すべてのごみステーション（47か所）	びんポストのあるごみステーション（23か所）
びんの色分け	3色の色分け不要	「トウメイ」「茶色」「その他の色」の3色に分別
排出時の音	レジカゴへの排出で排出時の音の緩和	びんポストへの投入につきびん排出時に音が出る
自治会収益	市より奨励金：7円/kg、回収業者より：1円/kg	なし

「ラベルはがし」と「キャップ取り」取りに、ご理解とご協力をお願いいたします。

「ラベルはがし」と「キャップ取り」が出来ないびんについては、市の回収にお出し下さい。

- ◆1、6丁目のマンションにつきましては別途協議をして方向性を決めます。
- ◆今回の空きびん回収をはじめ、ごみや環境に関して、ご提案・ご要望がありましたら遠慮なく生活環境専門部（西中、もしくは生活環境担当班長さん）までご連絡ください。住民の皆さんと自治会が協働して、より利便性の高い生活のしやすい弥生のまちづくりを創造して行きましょう。

◇ごみ減量のキーワード**3R**です。ご参考まで◇

- Reduce**（リデュース）：発生抑制＝ごみそのものを発生させない
 （例）エコバックの利用。マイはし・マイカップ。不要な物を買わない
 食べ残しをしない。スイカの皮の漬物。過剰包装を断る。
- Reuse**（リユース）：再利用＝古くなったものをもう1度利用する
 （例）古着の譲り合い。フリーマーケット。リターナルびん（洗浄して再利用）
- Recycle**（リサイクル）：再資源化＝不要物を形を変えて、再製品化する
 （例）びん類、アルミ缶、古紙類（新聞・雑誌・段ボール）等のリサイクル。
 生ごみの肥料化

★ごみ減量の優先順位：①Reduce ②Reuse ③Recycle



平成26年5月31日
生活環境専門部